

## 第 42 回九都県市合同防災訓練 横浜市会場の訓練概要

都市名 横浜市

<p><b>訓練目的</b></p>	<p>横浜市では例年、本市、防災関係機関、地域住民及び九都県市等の関係機関の連携強化と、災害対応力強化を目的として、総合防災訓練を開催しています。今年度は、横浜市が九都県市の幹事市となり、中央会場となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、訓練内容を縮小し無観客で実施します。</p>
<p><b>日 時</b></p>	<p>令和 3 年 11 月 7 日（日） 10 時 00 分～12 時 00 分（予定）</p>
<p><b>会 場</b></p>	<p>耐震バース（横浜市西区みなとみらい 1-1）</p>
<p><b>規 模</b></p>	<p>訓練参加数：約 1,000 人 （警察・消防・海上保安庁・自衛隊（陸/海/空）・行政、関係機関など）</p>
<p><b>想定地震</b></p>	<p>令和 3 年 11 月 7 日（日）10 時 00 分、相模湾近海を震源とするマグニチュード 8.1 の地震が発生し、横浜市内では最大震度 7 を観測した。市内では、公共交通機関の運行及びライフラインの供給が停止し、市内各所で火災の発生及び多数の負傷者が発生している。</p>
<p><b>訓練項目</b></p>	<p>(1) 国、関係機関及び協力団体との連携体制の強化 国及び九都県市等の協力体制のもと、想定される事象に対する広域的かつ緊急的な訓練を実施し、相互連携体制の強化を図る。</p> <p>(2) 自助・共助の取り組み強化を目的とした防災啓発 災害に対する正しい知識や自主防災意識の向上を図るとともに、「自らの命は自らが守る」という意識を醸成する。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染対策 感染拡大予防の観点から訓練参加者・訓練観覧者を制限するとともに、来場者管理を徹底し、来場者の安全確保を最優先とするよう努める。</p> <p>(4) 効果的な広報 多くの住民に対して確実に災害情報が伝わるように、インターネットなどの伝達手段を組み合わせた情報伝達の実施に努める。</p>
<p><b>訓練の特徴</b></p>	<p><b>【新型コロナウイルス感染対策について】</b> 訓練実施にあたっては、新しい生活様式に基づく行動をとることとし、感染リスクが高い状況を回避するために、主催者の市職員を含むすべての訓練参加者は、次に示す感染拡大予防対策を徹底して実施します。 なお、本訓練では感染蔓延防止対策として、関係者においても、名簿にて登録された者のみ訓練会場に入場することが出来るものとします。 (1) 発熱及びせき等、風邪の諸症状が見られる方の訓練参加見合わせ</p>

	<ul style="list-style-type: none"><li>(2) 参加人員を必要最小限に留める</li><li>(3) 来場者名簿の作成及び来場者の管理・把握</li><li>(4) 参加者への手洗い、うがい、マスク着用の徹底</li><li>(5) 訓練会場入場時に、運営係員、訓練参加者及び来賓一般観客を含む全ての来場者に検温実施（37.5℃以上の場合は入場を許可しない）</li><li>(6) 訓練会場入場時のアルコール消毒液による手指消毒の徹底</li><li>(7) 人と人との距離を十分に確保</li></ul>
問い合わせ先	横浜市危機管理室緊急対策課                      電話      045(671)2064